



新年度がスタートして早いもので約1ヶ月が経ちました。先日は虹の会総会、幼稚園部の親子遠足、保育所部の保育公開にご参加いただきありがとうございました。

今年度は、保育所部22名、幼稚園部68名、合計90名でのスタートとなりました。新しい環境に不安を感じて涙が出ていた子供たちも、好きなこと、やってみたいことをみつけて遊び出しています。安心できる保育者との関わりの中で、自分の思いを表しながら楽しく生活が送れるよう支えていきたいと思います。

毎日の生活が楽しく充実し、心身共に健やかに成長していけるよう、保護者の皆様とともに、職員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



## ～中央保育所・幼稚園の保育・教育について～



### 【教育目標】

「心身共に健康で生き生きと意欲的に生活する幼児の育成」

### 【めざす子ども像】

- 生き生きと生活する子ども  
自分の思いを素直に表し、意欲をもって活動する。
- 根気強く、たくましい子ども  
いろいろなことに挑戦し、考えたり工夫したりして、根気強く取り組む。
- 思いやりのある子ども  
友達の思いに気付いたり、力を合わせたり、助け合ったりする。
- 自分で考え行動できる子ども  
自分で判断して行動したり、探求心をもって活動したりする。



こども家庭庁から「全てのこどもの誕生前から幼児期までの『はじめの100か月』から生涯にわたるウェルビーイングの向上」を目的とし、5つの育ちビジョンが示されています。

ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的によい状態とされており、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含んでいます。

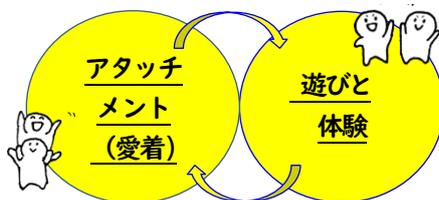
ビジョンの中の1つに「『安心と挑戦の循環』を通してこどものウェルビーイングを高める」が挙げられています。

乳幼児期の安定した「アタッチメント（愛着）」が子どもに安心感をもたらし、その安心感のもと「遊びと体験」等を通して外の世界への挑戦を重ねていきます。大人に見守られ、気持ちを受け止めてもらいながら夢中になって遊ぶ。そうした経験を繰り返す中で、こどもは自己肯定感等を育み、将来的な自立へとつながっていきます。

私たちは一人一人を大切にする保育を心がけ、自分の良さや友達の良さに気づき、互いの良さや違いを認め合えるような人間関係が築けるよう努めていきたいと思ひます。

子どもたちの興味関心を生かして、わくわくする保育を展開し、豊かな遊びを通して、子どもたちの育ちを支えていけるよう取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

(参考文献 幼児教育じほう 4月号)



子どもたちの生活・遊びの様子・・・



中央タイム

元気いっぱい体を動かします。



違うクラスの友達と誘い合って一緒に踊ろう。

体操リーダー



ぶどう組  
泥団子作り。いろいろな種類の土を集めています。



ぶどう組  
ダンゴムシの迷路作り



ぶどう組  
牛乳パック竹とんぼ、丸、三角、十字型などいろいろな形のを風にのせて飛ばします。



みかん組  
砂遊び楽しいよ。まぜまぜ何ができるかな？



りんご組  
ツマグロヒョウモンの幼虫を見つけたよ。「(虫かごに) そ〜っと入れよう」「そ〜とね」



りんご組  
「このお花、図鑑に一緒なのがあったよ！ほら見て！」



みかん組  
自分で歯磨き。上手です。



いちご組  
段ボールの車に乗って、しゅっぱ〜つ！



いちご組  
築山の上まで登ったよ。「お〜い！」



さくらんぼ組  
おやつ もぐもぐおいしいね

さくらんぼ組  
お迎えくるかな？

